

# 生徒の主体性を活かした学習

— 挙手制のグループ編成で学習習慣と学力向上を目指す —

## 群馬県立 吉井高等学校

テーマ ▶ 学び直し

目的 ▶ 個別最適化した学習の実施

家庭学習の習慣がない生徒が多数おり、学力の多様化が進んでいる中でスタディサプリ導入から2年。活用方法や取り組み、生徒の変化や先生の工夫など今回は吉井高校の新井先生、田中先生、齋藤先生の3名にお話しを伺いました。

### スタディサプリ導入以前

何を勉強していいかわからない、何を使ったらいいかわからないという理由から家庭での学習時間が非常に少ない生徒が多かったです。(齋藤先生)

上位層と下位層の学力差が大きく、クラス内でも内容をすぐに理解できる・時間をかけてもできない子があり、今までは個々に合わせた課題を用意しないといけなかったんですよ。(田中先生)

### この取り組みを始めたきっかけ

色々な家庭環境だったり、部活動をしていたり通学時間が長いなど様々な生徒がいますので、その隙間時間に何かできないかと考えたのがきっかけです。スタディサプリは講義が終わると確認テストで理解度が確認できるので、続けていくと今まで分からなかったところが分かるようになったり、手応えが

あって勉強したい生徒はどんどんやっていくところがいいと思います。また、到達度テストでつまづき項目を確認できるので課題配信と合わせて活用するやり方が一番なんじゃないかなと思います。学びたい段階やランクや位置づけ、分野がポンツと手軽に自分にあつたものを選ぶというところもいいですね。やっぱりつまづくとそこから先に進めなくなってしまうって不安に思っている生徒も多いと思うんですが、スタディサプリがあるっていうことで安心感がありますよね。(新井先生)

### 生徒の変化感

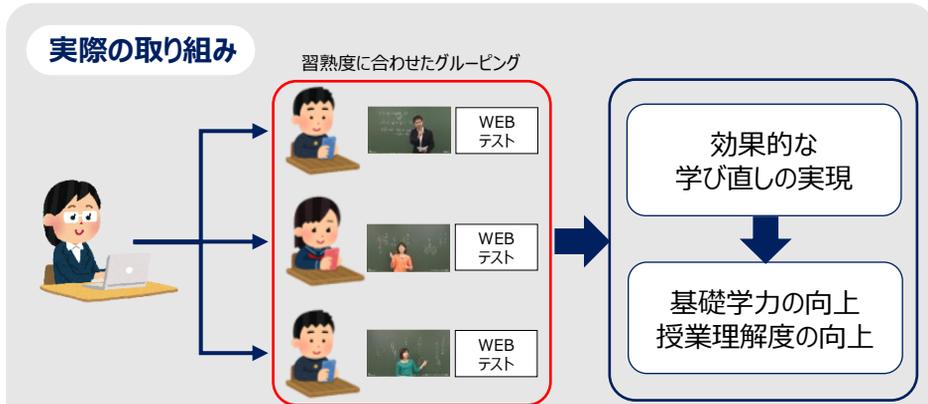
半年ほど実施していますが、多くの生徒がスタディサプリを使い続けることができています。頑張っている生徒に声掛けをする生徒が「見てるんですか」とびっくりしていました。またそれがやる気に繋がるため、今学期中に気持ち折れてしまっている生徒にも声掛けをしないとけないなと思っております。(田中先生)

大学進学を考えている生徒が「受験に向けてどのように勉強をすればいいかわからなかったけどスタディサプリがあれば勉強できる。続けられる。」と面談で話してくれました。一般受験をする生徒が少ないのですが、なかなか勉強が続けられなかった生徒が続けられるようになったというところが全然違う所かなと思います。それから褒められたりするとすごくやる気を出す子が本当に多いので、教員からの一言や見てるよっていうところが伝わると、励みになってます。頑張ってくださいね。(齋藤先生)

何かしらあったときにすぐにスタディサプリを開くっていう姿勢や習慣がつけば嬉しいですね。ちょっと分からないからでもいいし、このくらい時間があるからでもいいし、ちょっと頑張ってみようかでもいいし、Chromebookでパッと開けるところに入っているのがいいと思います。(新井先生)



左から 齋藤先生 (国語科) 田中先生 (英語科)



模試の結果をもとに習熟度別3グループに分けて、各自のレベルに合った課題配信  
↳ 1週間単位で国数英の3教科を田中先生がまとめて配信  
→ 正答率の低い生徒にはフォローアップ課題の実施



吉井高校の本校舎は錦川沿いの静かな環境の中にあり、落ち着いた環境の中で総合学科ならではの多様な科目の授業が毎日行われています。数学や英語といった普通科目以外に、芸術や家庭、保育や情報といった専門的な授業が多く開講されており、そのための専用教室や設備が完備されています。